(19)日本国特許庁 (JP)

(12) 公開特許公報(A)

(11)特許出顧公開番号 特開平5-207945

(43)公開日 平成5年(1993)8月20日

(51)Int.Cl.5

識別配号 庁内整理番号

FΙ

....

A47L 9/26

В

c

技術表示箇所

審査請求 未請求 請求項の数2(全 4 頁)

(21)出願番号

特爾平4-15967

平成4年(1992)1月31日

(71)出願人 000005821

松下電器産業株式会社

大阪府門真市大字門真1006番地

(72)発明者 恩田 雅一 大阪府門真市大字門真1006番地 松下電器

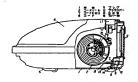
産業株式会社内 (74)代理人 弁理士 小鍜治 明 (外2名)

(54) 【発明の名称】 電気掃除機

(57)【要約】

【目的】コードリールを備えた電気掃除機において、プラグを引出しやすくすしてプラグによって床面などへの 係付きを防止する。

[構成] 電気掃除機の本体1は電動送風機 (図示せ ず)、コードリール2等を内蔵しており、後面には排気 口3、前方には蓋体4を備えている。本体1の後方下部 にはコードリール2のコード引出口7が形成され、コー ド8を巻取る時にはプラグ9が保持される。10はコー ドリール2を固定するプレーキであり、プレーキペタル 11を押すことによってプレーキ10を解除できる。プ ラグカバー12は送出板13を有し、本体1の外郭に設 けたカバー軸14に回動自在に取り付けられて保持され ている。コード8を巻取った状態においてはプラグカバ -12がプラグ9の外周を覆い、コード8をコードリー ル2から引出すときには、プラグカバー12の送出板1 3 がプラグ9を押し出すようにしている。そしてプレー キベタル11を押すと、コードリール2の固定を解除す るため、コード8がコードリール2に巻き込まれ、プラ グ9はプラグカバー12によって覆われる。



【特許辯求の顧用】

【請求項1】 電気掃除機の本体と、この本体内に内蔵 されたコードリールと、このコードリールに参取られる コードの先端に設けたプラグと、前配本体の外郭に設け た前記コードを引出すコード引出口とを備え、前記コー ド引出口部にカバー軸を設けるとともに前記カバー軸に 回動自在にプラグの外題を覆うプラグカバーを設け、前 配プラグカバーにはプラグカバーを開けるときに前配プ ラグを押し出す送出板を設けた徹気掃除機。

【請求項2】 コードリールを固定するためのプレーキ 10 を解除するプレーキペタルを設け、前記プレーキペタル に連結された連結軸を介してプラグカバーが前記プレー キ解除に連動して開くようにした請求項1記載の低気掃 除機。

【発明の詳細な説明】

[0001] 【産業上の利用分野】本発明は、コードリールを備えた

電気掃除機に関する。 [0002]

【従来の技術】近年、世気掃除機は利便性があるのでコ 20 ードリールを備えたものが多用されている。

【0003】従来、この種の電気掃除機には図4および 図5 に示すような構成のものがあった。以下その構成に ついて図面を参照しながら説明する。図に示すように、 電気掃除機の本体1は電動送風機(図示せず)、コード リール2等を内蔵しており、後面には俳気口3、前方に は蓊体4を備えている。本体1の底部の前方にはキャス ター5、後方側面にはローラー6が回転自在に取り付け られている。また本体1の後方下部にはコードリール2 のコード引出口7が形成され、コード8を兼取る時には 30 プラグ9が保持される。10はコードリール2を固定す るプレーキであり、プレーキベタル11を押すことによ ってプレーキ10を解除できる。

[0004]

【発明が解決しようとする課題】 しかしながら上記従来 の構成では、電気掃除機を収納するときには排気口3を 下にして立てた状態とするので、プラグ9の先端が床に 当たり、床を傷付けるという問題があった。

【0005】本発明は上記従来の問題を解決するもの で、プラグを引出しやすくすることができ、プラグによ 40 って床面などへの係付きを防止することができる電気掃 除機を提供することを目的とする。

[0006]

【課題を解決するための手段】本発明は上記目的を達成 するもので、第1の課題解決手段としては、コード引出 口部にカバー輪を設けるとともにカバー軸に回勤自在に プラグの外周を覆うプラグカバーを設け、プラグカバー にはプラグカバーを開けるときにプラグを押し出す送出 板を設けたものであり、また第2の課題解決手段として は、コードリールを固定するためのプレーキを解除する 50 始しようとするときにプレーキベタル11を押すと、プ

プレーキペタルを設け、プレーキペタルに連結された連 結軸を介してプラグカバーがプレーキ解除に連動して開 くようにしたものである。

[0007]

【作用】上記した構成において、第1の課題解決手段の 作用は、コードをコードリールから引出すときにプラグ カバーを掴んで駆けるときに送出板がブラグを押し出 し、コードをコードリールに巻き込んだ状態においては プラグカバーでプラグの外周を覆っているのであり、ま た第2の課題解決手段の作用は、プレーキペタルに連結 された連結軸を介してプラグカバーが前記プレーキ解除 に連動して開くため、プレーキペタルによってプラグカ パーを開けることができる。

[0008]

【実施例】以下、本発明の第1の実施例について、図1 および図2を参照しながら説明する。なお、本字施例に おいて、前述の従来例に示したものと同一構成部品には 同じ符号を付し、その説明は省略する。本実施例の特徴 的構成は従来例で説明したコード引出口7部にプラグ9 を覆うプラグカバー12を設けたことにある。すなわ ち、プラグカバー12は送出板13を有し、本体1の外 郭に設けたカバー軸14に回動自在に取り付けられて保 持されている。コード8を発取った状態においてはプラ グカバー12がプラグ9の外周を覆い、コード8をコー ドリール2から引出すときには、送出板13がプラグ9 を押し出すようにしている。

【0009】次にその動作を説明する。すなわち、使用 者が掃除を開始しようとするときに、コード8をコード リール2に収納した状態においてプラグカバー12を開 くと、プラグ9は送出板13によって押し出され、プラ グ9を掴んでコード8を引出し、コードリール2はプレ ーキ10によって固定される。また掃除を終了し、プレ ーキベタル11を押すと、コードリール2の固定を解除 するため、コード8がコードリール2に巻き込まれ、プ ラグ9の端面が送出板13を押し、プラグ9はプラグカ パー12によって覆われる。

【0010】このように実施例の電気掃除機によれば、 プラグ9がコード引出口7に挿着された状態ではプラグ 9がプラグカバー12によって覆われているので、移動 するときにプラグ9が露出して床、絨毯、骨等に当たり 損傷することがなくなる。

【0011】図3は本発明の第2の実施例を示したもの である。第1の事施例と相談する点は、プレーキペタル 11を押すことによってプレーキ解除と同時にプラグカ パー12を動作させる構成としたことにある。すなわ ち、プレーキペタル11にはプレーキペタル輪15が固 定され、連結軸16がブレーキペタル軸15およびカバ 一支点17に連結されている。そして、コード8をコー ドリール2に収納した状態において、使用者が掃除を開 レーキペタル輸15. 連結輸16を介してブラグカバー 12を開き、ブラグ9 1は送出板13 によって押し出さ れ、ブラグ9 を描かてコード8 を引出すことができる。 また解除を終了しブレーキペタル11を押すと、ブラグ カバー12 が間ぐと同時に、コードリール2の固定を解 除するため、コード8 がコードリール2 の固定を解 テンプリーの場所が送出板13を押し、ブラグ9 はブラグカ バー12 によって張われる。

【0012】このように実施例の電気掃除機によれば、 ブレーキベタル11を押すことによってブレーキ解験と 10 同時にブラグカバー2が動作するので、使い勝手をよ くすることができるとともにブラグ9が、床、絨毯、昼 等に当たり指揮することがなくなる。

[0013]

【発明の効果】上配実施例から明らかなように未発明の 低気得除機は、コード別由口部に力が一般を設けるとと もに力が一幅に回り面を住たプラグの外段を覆うプラクカ パーを設け、プラグカバーにはプラグカバーを関けると きにブラグを押し出す送出板を設けたものであり、この 構成とすることにより、プラグを引出しやすくすること 20

ができ、プラグによって床面などへの傷付きを防止でき る。

【図面の簡単な説明】

【図1】本発明の第1の実施例の電気掃除機の要部断面 図

【図2】同電気掃除機の部分断面図

【図4】従来の電気掃除機の要部断面図

0 【図5】同電気掃除機の後面図

【符号の説明】 1 本体

- 2 コードリール
- 7 コード引出口
- 8 コード
- 9 ブラグ
- 12 プラグカバー
- 13 送出板 14 カバー軸

[図1]

